

測量計算・電子野帳 (TS)

A-SurveyAd

Android

エース プロジェクト

2025/05

Ver4.9.4 にて追加、修正された機能を説明します。

- ・新しい、「コンパス旋回」
- ・任意座標系の現場作成
- ・「コンパス旋回 Drogger」を変更

1、新しい、「コンパス旋回」

Android 機のデジタルコンパスを使用した、旋回を変更しました。

- ・加速度センサー
 - ・磁気センサー
 - ・ジャイロスコープ
- の3個を、複合して使用方法に変更しています。
8の字調整は、必要です。
試してみてください。

2、任意座標系の現場作成

要望がありましたので、追加しました。

任意座標系で、使用する場合

A-Survey では、下記のようになります。

- ①座標入力で T1 (100,100)
 - ②N 点の座標入力(200, 100)
 - ③器械、BS を放射トラで指示
 - ④TS の望遠鏡を磁北に向ける(棒コンパス)
 - ⑤「HV」モードで[BS]ボタンで測定
 - ⑥T2 を視準、測定、登録
- 以降は、T1,T2 を基準に

今回は、上記の①と②を自動化するというものです。



←「新規現場」に
「OK（任意）」のボタンが追加
されています。

PC-MDXF
2 点

Sample
32 点

Takaku
4 点

Rosen
5 点

GPS
9 点



予め、

ninni_zahyou.txt ファイルに

下記の様に2点、記入してください。

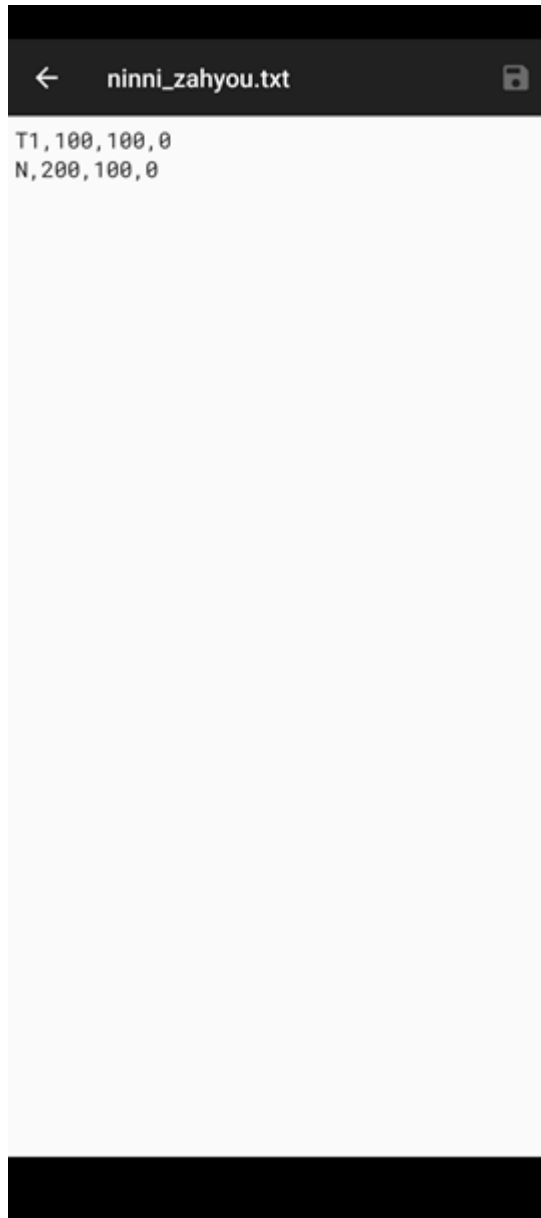
点名,X,Y,標高

です。

自由に、点名、数値は変更してください。

1 点目が、器械点

2 点目が、後視点になります。



ninni_zahyou.txt は、MicroSD の jp.Asurvey フォルダの直下か
内部メモリの、ASurvey 測量フォルダの直下に置いてください。

4.9.4 を起動時に ninni_zahyou.txt が無ければ、ASurvey 測量フォルダの
直下に作成されます。

3、Drogger を使用した「コンパス旋回」 「コンパス旋回 Drogger」を変更

4.9.3 で、疑似ロケーションの方位を使用する方法を試して頂きましたが、この方法では Drogger GPS からの方位は得られないという事で、今回は「TCP 通信」で NMEA の方位(PRDID)を使用する方法に変更しました。

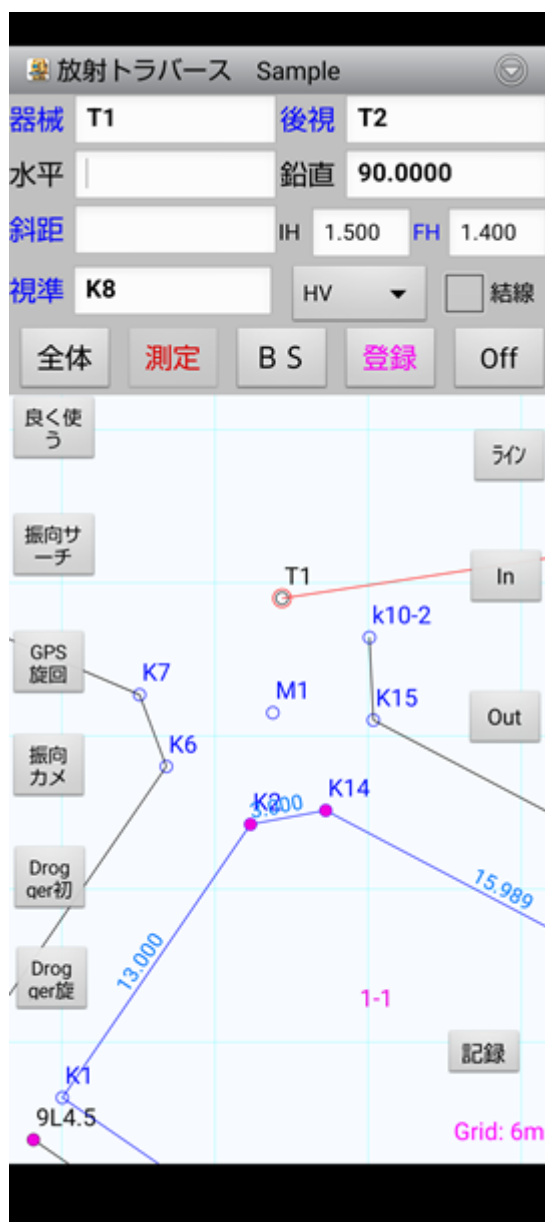
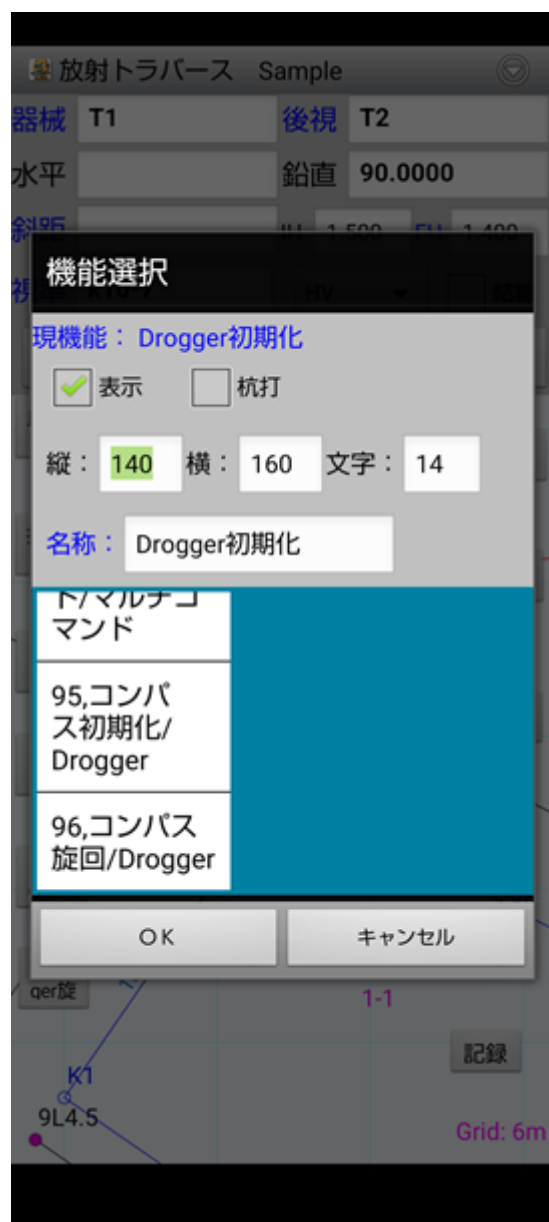
使い方は、同じです。

Drogger の RTK 測定時に北に向ける箇所を（向きを一定にするという事です）TS の方向に向けてください。
初期化、旋回時共に同じです。

方位のみの取得なので、TS は鉛直には旋回しません。
鉛直方向は現在の方向のままです。
「放射トラバース」のみで使用できます。

使用前に、Drogger GPS を起動し、「Start」してください。
「コンパス初期化」、「コンパス旋回」を押すと、TCP 通信を開始します。
「GPS 条件」を、設定しておいてください。

マルチボタンに、追加されていますので
MultiBton.txt を、更新してください。



A-SurveyAdB

放射トラバース 25/05/10 10:33:53

器械点：T1 後視点：T2

器械高：1.500

視準点：T2 視準高：1.400

メモ：

水平角：0.0005 鉛直角：90.0000

斜距離：0.000 水平距離：0.000

X = 0.000 Y = 0.000

標高 = 0.000 高低差：0.005

【測距モード：HV】

【サーチ：BS:自動視準しない】

S R Xターゲット 25/05/10 10:33:54

プリズム -30mm 径58mm です。

25/05/10 10:34:04

コンパス初期化Drogger

方位=98.1012

TS水平角=193.3650 TS鉛直角=91.2000

25/05/10 10:34:33

コンパス旋回Drogger

方位=70.3412

旋回水平=165.5114 旋回鉛直=91.2000

水平方向のみ、旋回します。

鉛直方向は、旋回しませんのでサーチしてください。

戻る

進む

25_05_10

閉じる